

## 平成 30 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における東淀中学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成 30 年 4 月から 7 月末までの期間に、2 年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

### 1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- （１）子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- （２）各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- （３）各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### 2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第 2 学年、中等教育学校第 2 学年、特別支援学校中学部第 2 学年の原則として全生徒
- ・東淀中学校では、2 年生 201 名

### 3 調査内容

- ・生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）  
中学校調査では、以下の種目を実施する。

〔8 種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ（※持久走か 20m シャトルランのどちらかを選択）

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「生徒質問紙調査」という。）を実施する。

# 平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

## 全体の概要

大阪市立東淀 中学校

生徒数

201

## 平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	31.41	24.99	39.59	50.13		78.38	8.20	194.11	21.71	40.16
大阪市	29.05	27.74	41.48	52.14	410.43	85.66	8.06	192.58	20.29	41.72
全国	28.84	27.36	43.44	52.24	392.65	86.06	7.99	195.62	20.55	42.32
女子	24.77	22.84	43.00	45.17		54.74	8.96	162.45	14.96	50.56
大阪市	24.06	23.91	44.95	47.47	304.56	59.88	8.89	168.48	12.96	50.14
全国	23.87	23.87	46.22	47.37	286.85	59.87	8.78	170.26	12.98	50.61

## 結果の概要

- ・女子の体力合計点は大阪市平均を上回り、全国平均とほぼ同じ結果となったが、男子は大阪市平均、全国平均をともに下回る結果となった。
- ・種目別に見ると、男女とも握力とハンドボール投げが全国平均を上回り、そのほかの種目は下回るという結果となっている。
- ・依然、持久力には課題が残ったままである。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

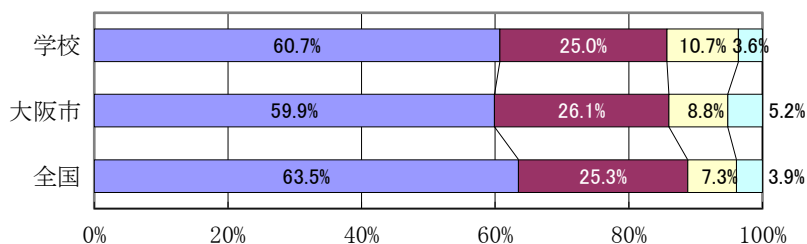
- ・女子は昨年度、全国平均を上回り、男子も全国平均と同じ結果であったことを考えると、今年の体力合計点は全体的に下がってしまったと言える。
- ・男女とも握力とハンドボール投げが全国平均を上回っている結果については、男子は野球部、卓球部、バスケットボール部、女子はソフトボール部、バレー部、バドミントン部、バスケットボール部、卓球部とボールを投げる、バットやラケットを握るといった種目の部活動に所属している割合が高いのが理由と考えられる。この結果は部活動での取組が体力向上に役立っている成果ではないか。
- ・引き続き、持久力の項目で低い値となっている。冬の間、体育の授業において持久走を多く取り入れ取り組んでいるが、1学期の時期に結果が出ていない。年間を通した持久力に対する継続した取組と授業での工夫が必要である。
- ・生徒質問紙における「授業は楽しい」に対する肯定的回答が男女とも昨年度よりも低くなっており、「助け合い」や「達成感」の肯定的回答も低い。校内での生徒アンケートでは体育教員の評価は高くなっていることを考えると運動に対する個々の意識の向上が必要である。

## 運動やスポーツについて（男子）

質問 番号	質問事項
1	運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか
2	自分の体力に自信がありますか。
3	あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか。
4	中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。

1

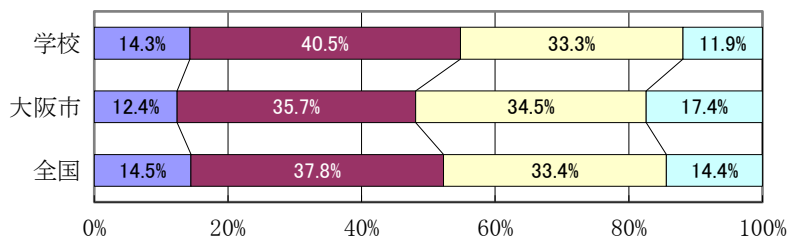
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



□好き  
■やや好き  
□ややきらい  
□きらい

2

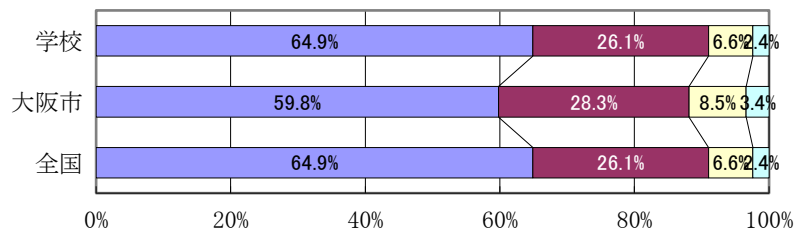
自分の体力に自信がありますか。



□自信がある  
■やや自信がある  
□あまり自信がない  
□自信がない

3

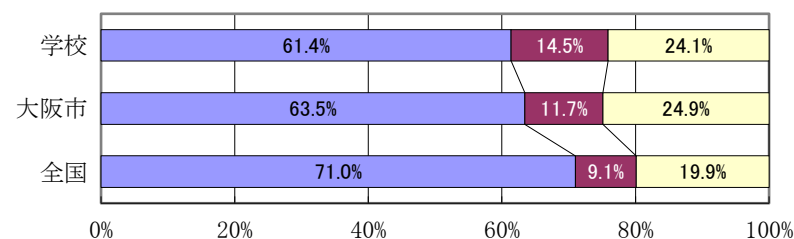
あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか。



□大切  
■やや大切  
□あまり大切ではない  
□大切ではない

4

中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



□思う  
■思わない  
□分からない  
□

### 成果と課題

運動や体力に対する意識や自信はしっかりと持てている結果である。ただ、この結果と測定結果の数字とが結びついていないことが課題である。

### 今後の取組

運動に対する意識と自信はある程度持てているので、この意識を具体的な能力アップにつなげていくような体育授業の工夫を行っていくとともに、学校行事においても球技大会や体育大会など運動による活躍の場を増やしていく。

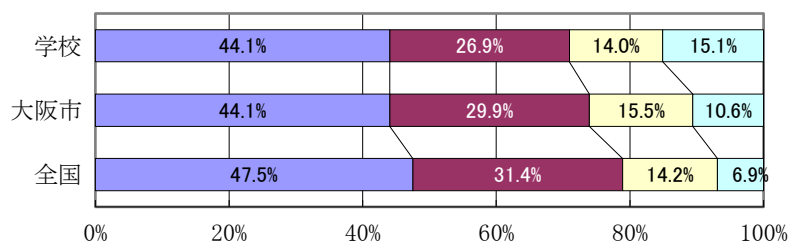
# 運動やスポーツについて（女子）

質問  
番号

質問事項

1

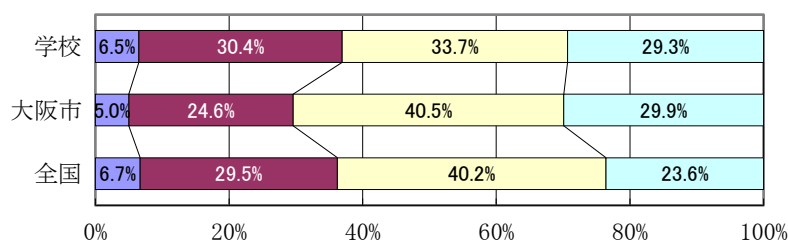
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



□ 好き  
■ やや好き  
□ ややきらい  
□ きらい

2

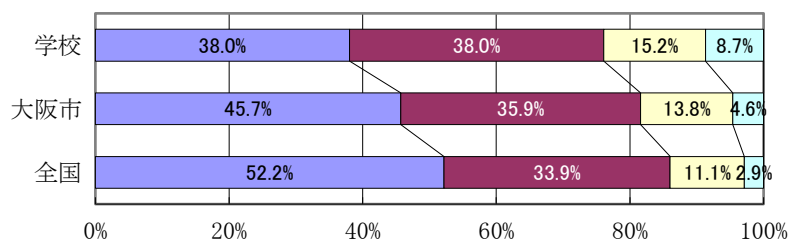
自分の体力に自信がありますか。



□ 自信がある  
■ やや自信がある  
□ あまり自信がない  
□ 自信がない

3

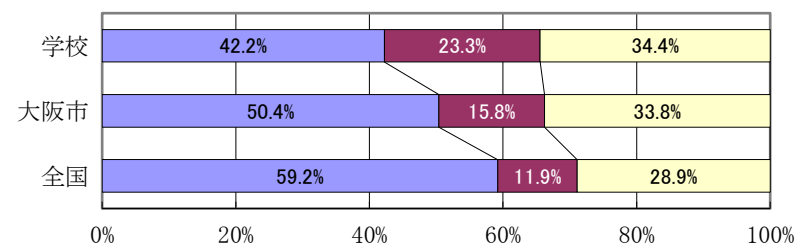
あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか。



□ 大切  
■ やや大切  
□ あまり大切ではない  
□ 大切ではない

4

中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



□ 思う  
■ 思わない  
□ 分からない  
□

## 成果と課題

体力に自信を持っている割には運動に対する意識が低い。運動への意欲向上が最大の課題である。

## 今後の取組

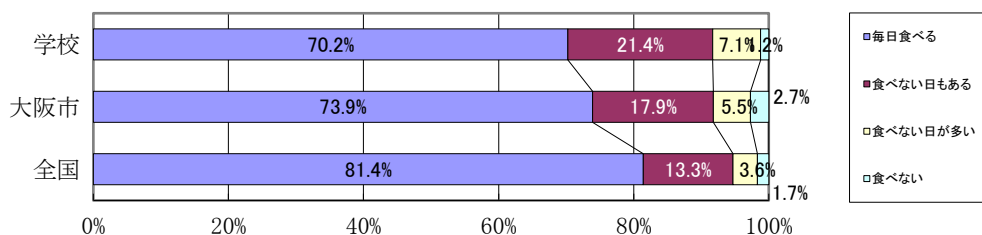
運動への意欲を向上させ、具体的な能力アップにつなげていくような体育授業の工夫を行っていくとともに、学校行事においても球技大会や体育大会など運動による活躍の場を増やしていく。

## ふだんの生活について（男子）

### 質問 番号 質問事項

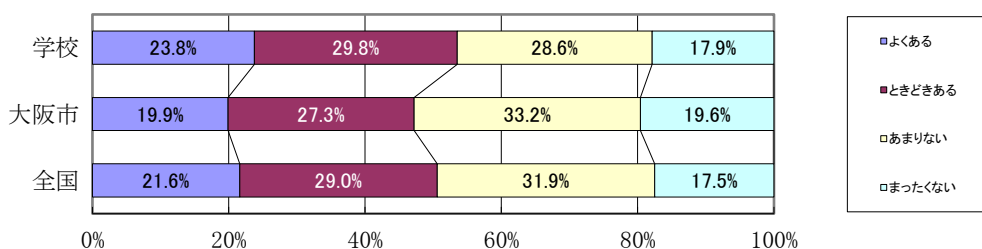
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



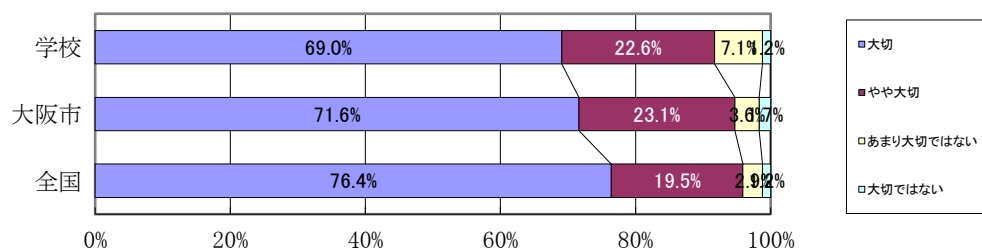
14

あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



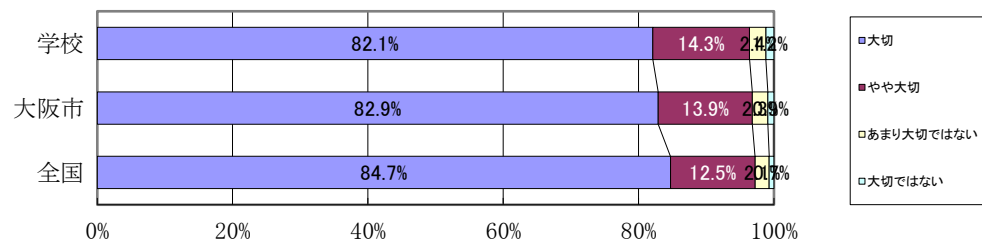
15

あなたが健康でいるために食事をしっかり取ることはどのくらい大切だと考えていますか。



16

あなたが健康でいるためによくねることはどのくらい大切だと考えていますか。



### 成果と課題

朝食の摂食率は、全国平均と変わらない結果となったのは継続した啓発活動の成果ではないか。また、健康に対する意識は運動に対する肯定的回答は全国を超えており、睡眠、食事に関しても90%以上の肯定的回答が得られている点においても成果が表れている。

### 今後の取組

引き続き、学年便りや保健便りにおいて普段の生活について啓発活動を行っていくとともに、保健授業や保健委員会の取組、出前授業などによって健康への意識向上を目指して取り組んでいく。

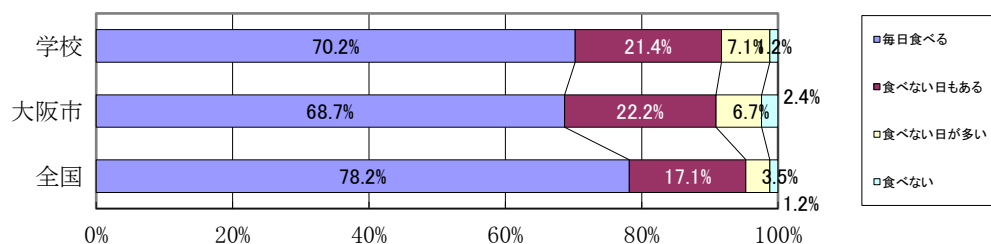
## ふだんの生活について（女子）

質問  
番号

質問事項

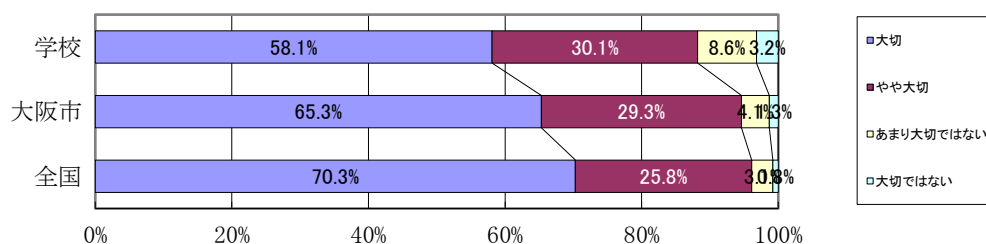
7

朝食は毎日食べますか  
(学校が休みの日も含める)



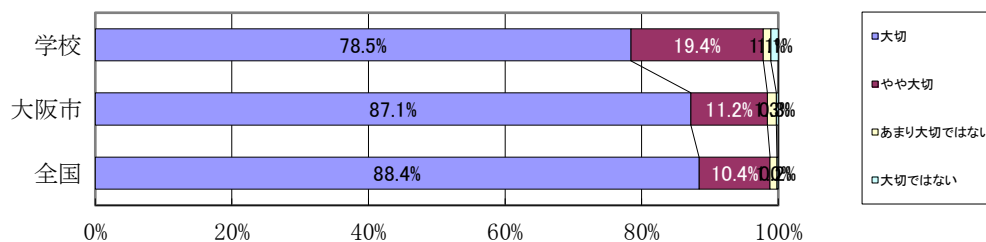
14

あなたが健康であるために  
運動を行うことはどのくらい  
大切だと考えていますか。



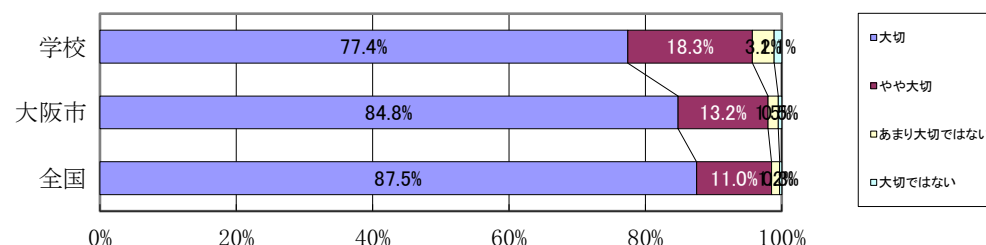
15

あなたが健康であるために  
食事をしっかり取ることはど  
のくらい大切だと考えてい  
ますか。



16

あなたが健康であるために  
よくねることはどのくらい大  
切だと考えていますか。



### 成果と課題

朝食の摂食率は、全国平均と変わらない結果となったのは継続した啓発活動の成果ではないか。しかしながら、健康に対する運動、睡眠、食事への意識は全国や本校男子に比べても低くなっており、今後の課題である。

### 今後の取組

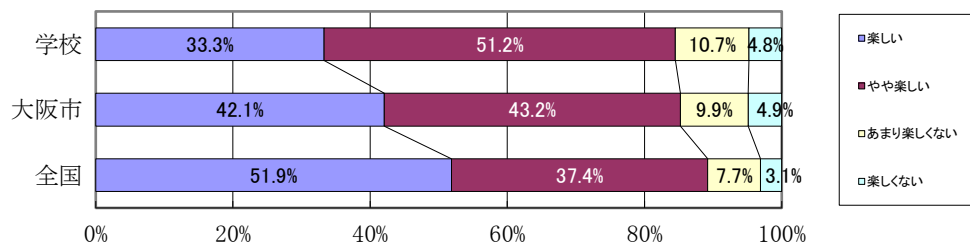
引き続き、学年便りや保健便りにおいて普段の生活について啓発活動を行っていくとともに、保健授業や保健委員会の取組、出前授業などによって健康への意識向上を目指して取り組んでいく。

## 保健体育の授業について（男子）

### 質問 番号 質問事項

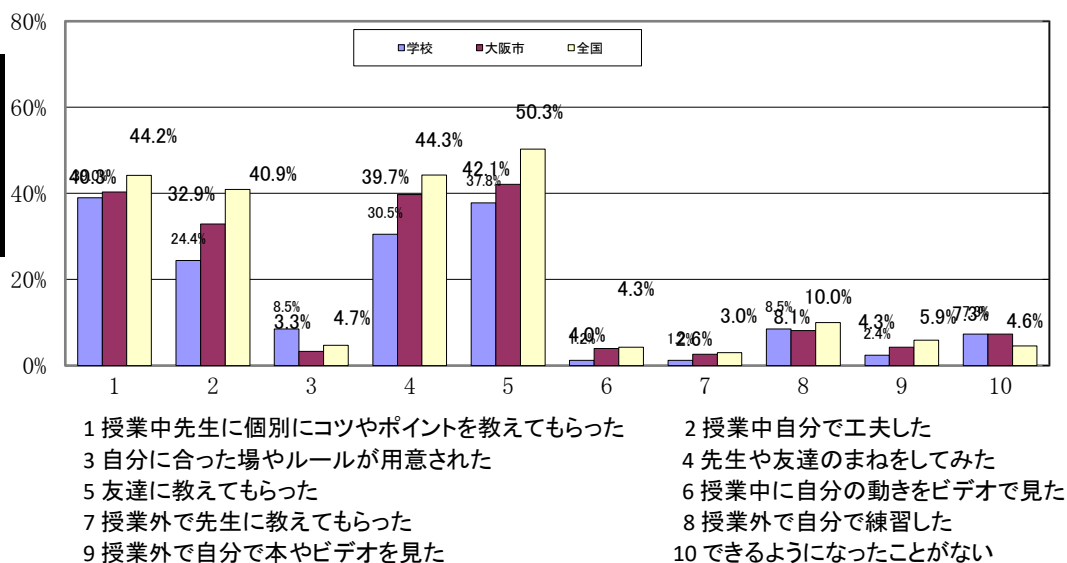
17

保健体育の授業は楽しい  
ですか



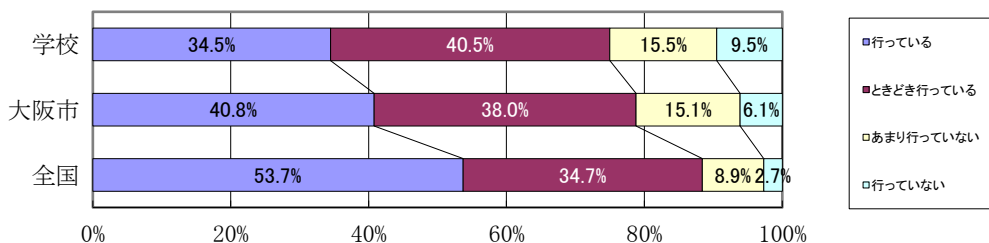
24

これまでの体育の授業で  
「できなかったことができる  
ようになった」きっかけ、理  
由はどのようなものがありま  
したか



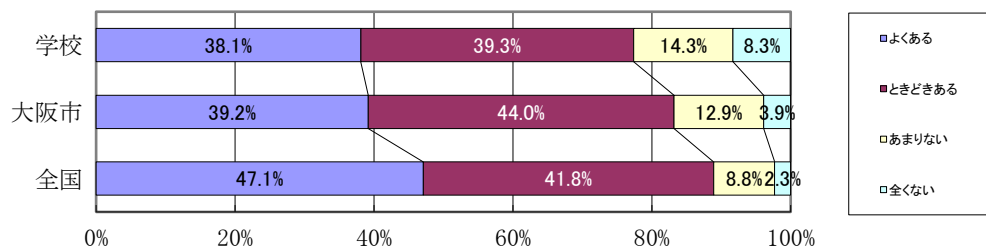
21

ふだんの保健体育の授業  
では、友達と助け合ったり、  
役割を果たすような活動を行  
っていますか。



23

ふだんの保健体育の授業で、  
「わかる」ことで「できる」よ  
うになったり、「できる」こと  
で「わかる」ようになったりし  
たことはありますか。



### 成果と課題

「授業が楽しい」に対する肯定的回答は全国と比べてそれほど変わらないが、「助け合い」「達成感」の項目については少し低い値となっている。連帯感や運動して得た充実感などを味わせることが課題である。

### 今後の取組

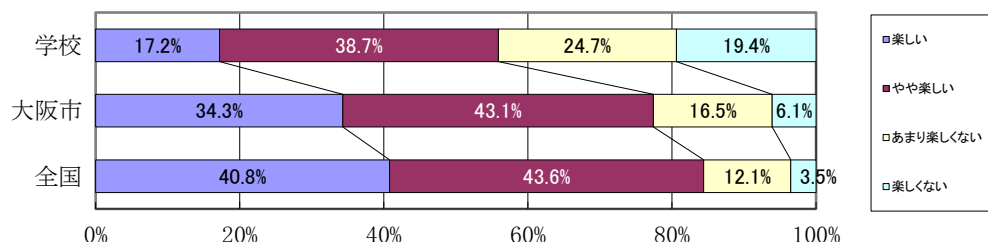
対戦型ゲーム形式の授業や記録の伸びがすぐに感じられるような体育授業や球技大会などの学校行事の取組を継続して取り組んでいく。

# 保健体育の授業について（女子）

質問  
番号 質問事項

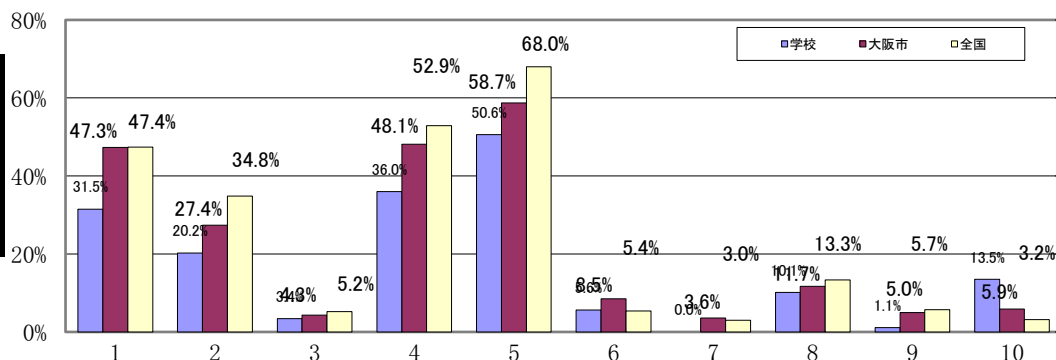
17

保健体育の授業は楽しい  
ですか



24

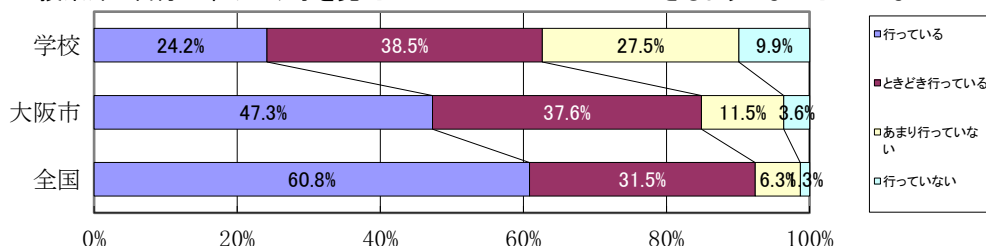
これまでの体育の授業で  
「できなかったことができる  
ようになった」きっかけ、理  
由はどのようなものがありま  
したか



- 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 授業中自分で工夫した
- 自分に合った場やルールが用意された
- 先生や友達のまねをしてみた
- 友達に教えてもらった
- 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 授業外で先生に教えてもらった
- 授業外で自分で練習した
- 授業外で自分で本やビデオを見た
- できるようになったことがない

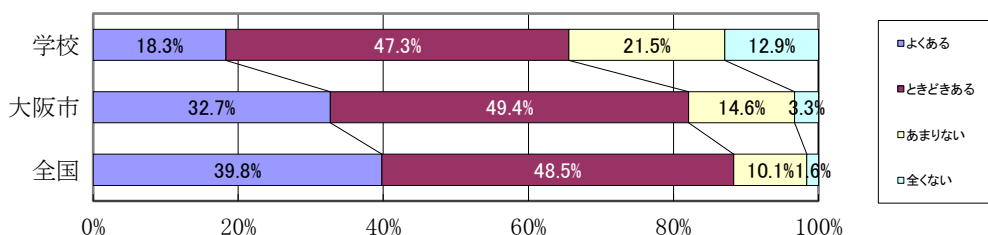
21

ふだんの保健体育の授業  
では、友達と助け合ったり、  
役割を果たすような活動を行  
っていますか。



23

ふだんの保健体育の授業で、  
「わかる」ことで「できる」よう  
になったり、「できる」ことで「わか  
る」ようになったりしたことはあり  
ますか。



## 成果と課題

「授業が楽しい」に対する肯定的回答や、「助け合い」「達成感」の項目においてすべてに全国平均よりも低い値となっている。授業の中で連帯感や運動して得た充実感などを味わえることが課題である。

## 今後の取組

対戦型ゲーム形式の授業や記録の伸びがすぐに感じられるような体育授業や球技大会などの学校行事の取組を継続して取り組んでいく。



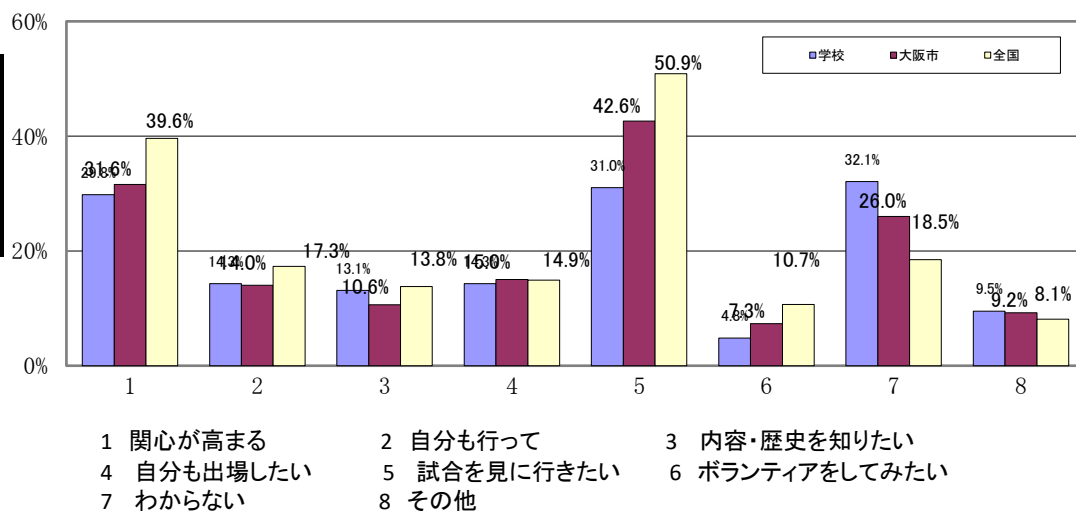
## その他（男子）

質問  
番号

質問事項

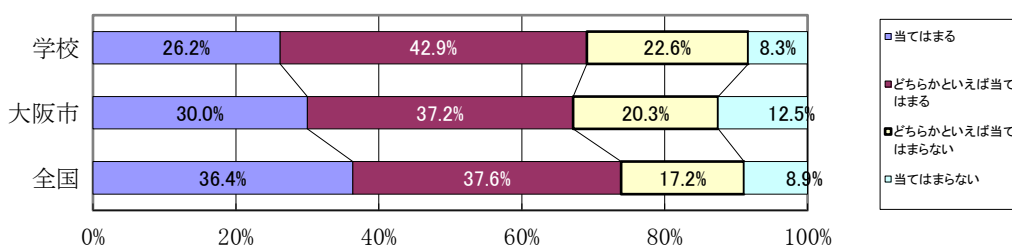
31

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



34

自分には、よいところがあると思う



## 成果と課題

自尊感情への肯定的回答が大阪市平均を上回り、全国平均に迫る勢いである。いのちの大切さやキャリア教育などの実践活動により徐々にではあるが自分を大切にすることが育ってきているのではないかと。

## 今後の取組

運営の計画の長期展望として掲げているようにキャリア教育や命の授業など3年間を見通した取組をこれからも継続していく。

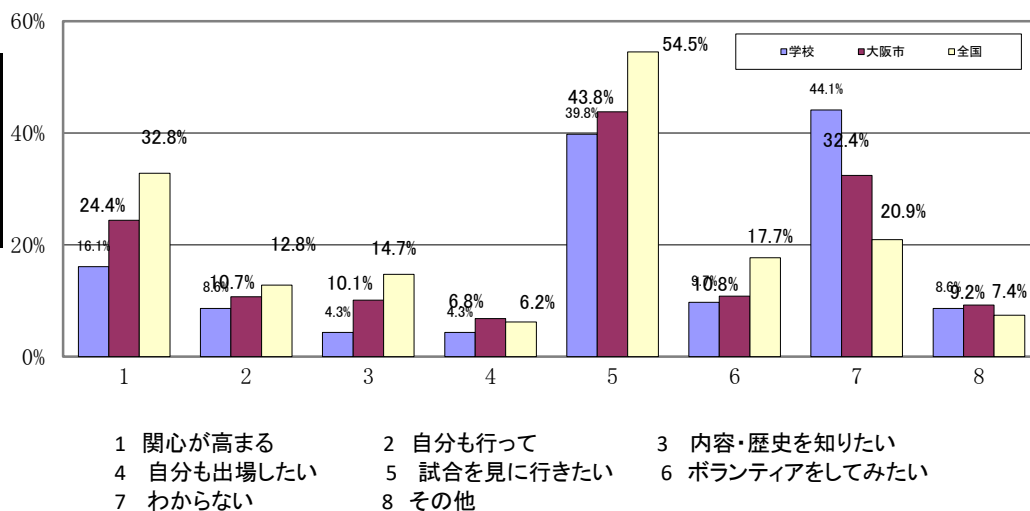
## その他（女子）

質問  
番号

質問事項

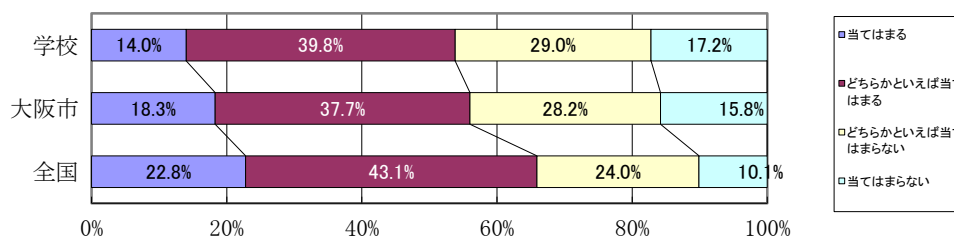
31

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



34

自分には、よいところがあると思う



### 成果と課題

自尊感情が男子と比べて低い値となっている。同じ取組の中でこの男女間での差について、今後分析していく必要がある。

### 今後の取組

運営の計画の長期展望として掲げているようにキャリア教育や命の授業など3年間を見通した取組をこれからも継続していく。